

## II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

### 2 社会

#### (1) 正答率

問題	配点	正答		一部正答		誤答		無答		通過率 率 = $\frac{\text{得点計}}{\text{人数} \times \text{配点}}$ (%)	
		数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)		
1	問1	2	394	88.5	0	0.0	44	9.9	7	1.6	88.5
	問2	2	229	51.5	0	0.0	215	48.3	1	0.2	51.5
	問3	3	379	85.2	0	0.0	62	13.9	4	0.9	85.2
	問4	5	196	44.0	231	51.9	6	1.3	12	2.7	77.3
	問5	3	251	56.4	24	5.4	169	38.0	1	0.2	59.2
2	問1	3	204	45.8	66	14.8	155	34.8	20	4.5	53.0
	問2	2	309	69.4	0	0.0	134	30.1	2	0.4	69.4
	問3	2	314	70.6	0	0.0	130	29.2	1	0.2	70.6
	問4	5	244	54.8	134	30.1	30	6.7	37	8.3	71.4
	問5	3	251	56.4	37	8.3	155	34.8	2	0.4	61.0
3	問1	2	356	80.0	0	0.0	87	19.6	2	0.4	80.0
	問2	3	226	50.8	0	0.0	217	48.8	2	0.4	50.8
	問3	3	149	33.5	6	1.3	196	44.0	94	21.1	34.4
	問4	2	177	39.8	0	0.0	264	59.3	4	0.9	39.8
	問5	5	129	29.0	198	44.5	84	18.9	34	7.6	53.9
4	問1	3	33	7.4	1	0.2	408	91.7	3	0.7	7.6
	問2	3	195	43.8	6	1.3	185	41.6	59	13.3	44.7
	問3	5	209	47.0	167	37.5	31	7.0	38	8.5	66.3
	問4	2	92	20.7	0	0.0	349	78.4	4	0.9	20.7
	問5	2	256	57.5	0	0.0	187	42.0	2	0.4	57.5
5	問1	3	271	60.9	5	1.1	129	29.0	40	9.0	61.6
	問2	5	121	27.2	207	46.5	68	15.3	49	11.0	54.9
	問3	2	390	87.6	0	0.0	54	12.1	1	0.2	87.6
	問4	2	324	72.8	0	0.0	120	27.0	1	0.2	72.8
	問5	2	326	73.3	0	0.0	98	22.0	21	4.7	73.3
	問6	3	144	32.4	43	9.7	253	56.9	5	1.1	37.5
	問7	5	271	60.9	79	17.8	56	12.6	39	8.8	70.2
	問8	3	309	69.4	0	0.0	104	23.4	32	7.2	69.4
6	問1	2	199	44.7	0	0.0	240	53.9	6	1.3	44.7
	問2(1)	3	341	76.6	1	0.2	71	16.0	32	7.2	76.8
	問2(2)	2	322	72.4	0	0.0	115	25.8	8	1.8	72.4
	問3	3	151	33.9	49	11.0	222	49.9	23	5.2	24.7
	問4	5	186	41.8	124	27.9	74	16.6	61	13.7	56.4

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

#### (2) 問題の内容

1 世界地図に示した5か国について調べる学習の場面を想定した、地理的分野の問題である。

問1 六大陸のうち、エチオピアがある大陸の名称を書く問題である。

問2 緯度と経度が示された地点を地図中から選ぶ問題である。

問3 インドの宗教についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書く問題である。

問4 1965年と2015年のオーストラリアの貿易について表を2つ読み取り、オーストラリアの貿易がどのように変化したかを記述する問題である。

問5 エチオピア、インド、オーストラリア、アメリカ合衆国、ブラジルの、2014年における国土面積、人口、1人あたりのGNI、農地面積、牛の家畜頭数、牛乳生産量を示した表を読み取り、読み取れる内容を述べた文として正しいものをすべて選ぶ問題である。

- 2 日本のある地域の自然環境や産業について調べる学習の場面を想定した、地理的分野の問題である。
- 問1 地図に模式的に示された2つの暖流と、九州地方の自然についてのまとめを読み、地図とまとめの中の空欄にあてはまる、暖流の名称にも用いられる九州地方の島の名称と、まとめの空欄にあてはまる、火山の爆発や噴火による陥没などによってできた大きなくぼ地の名称を書く問題である。
- 問2 沖縄県、大分県、鳥取県の県庁所在地の気温と降水量を示した3つのグラフを読み取り、グラフと県庁所在地の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問3 沖縄県、鹿児島県、大分県、鳥取県の人口、産業別人口割合、農業産出額、工業出荷額を示した表を読み取り、鹿児島県にあたるものを選ぶ問題である。
- 問4 東京都中央卸売市場におけるなすの月別入荷量を示した表を読み取り、群馬県と比較した高知県のなすの出荷の特色について、ビニールハウスを利用して出荷時期を早める工夫をしたある栽培方法の名称を用いて説明する問題である。
- 問5 高知県の一部を示した2万5千分の1の地形図を読み取り、読み取れる内容を述べた文として下線部が正しいものをすべて選ぶ問題である。
- 3 近世までの日本の仏教について調べる学習の場面を想定した、歴史的分野の問題である。
- 問1 奈良時代の社会や経済の様子を述べた文として正しいものを選ぶ問題である。
- 問2 平安時代と同時代の世界のできごとを述べた文として、その正誤の組み合わせが正しいものを選ぶ問題である。
- 問3 鎌倉時代に開かれた新しい仏教についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる人物名を書く問題である。
- 問4 室町時代の文化について述べた文と、室町時代の代表的な文化財の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問5 江戸時代の第3代将軍のときに出された法令に定められた参勤交代の内容と、江戸時代の第3代将軍の名前を書く問題である。
- 4 近現代の年表を基にした、歴史的分野の問題である。
- 問1 日米修好通商条約の締結から大日本帝国憲法の発布に至るまでのできごとについて述べた文を、年代の古い順に並べかえる問題である。
- 問2 日英通商航海条約の締結についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる人物名を書く問題である。
- 問3 米の価格の変化を示した表を読み取り、米騒動が起こった理由を、ロシア革命への干渉戦争の名称を用いて記述する問題である。
- 問4 日中戦争が始まるまでのできごとについてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる、日本軍と中国軍の武力衝突が起こった場所の名称と地図中の位置の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問5 石油危機からソ連の解体までの日本の社会や経済の様子について述べた文として正しいものを選ぶ問題である。
- 5 テーマを設定して調べる学習の場面を想定した、公民的分野の問題である。
- 問1 基本的人権を保障するためのある権利についてまとめた表の空欄にあてはまる語を書く問題である。
- 問2 内閣不信任案が可決された場合、内閣はどのような選択をしなければならないかを具体的に説明する問題である。
- 問3 刑事事件の模擬裁判の台本を読み、台本の中の空欄にあてはまる語の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問4 市場経済について学ぶ授業における先生と生徒との会話文を読み、会話文の中の空欄にあてはまる言葉の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問5 銀行についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書く問題である。
- 問6 現在の日本の財政に関して述べた文として正しいものをすべて選ぶ問題である。
- 問7 安全保障理事会における、ある重要な決議案の表決をまとめた表をみて、決議案が可決されたか否決されたかを、理由とともに説明する問題である。
- 問8 日本の国際貢献についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書く問題である。

- 6 ロシアで開催されたサッカーワールドカップに出場した国に関連する事項について調べる学習の場面を想定した、地理的分野・歴史的分野・公民的分野についての総合的な問題である。
- 問1 エジプト文明について述べた文と、エジプト文明で発明された文字の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問2 (1) ペルーがある南アメリカ大陸の地図をみて、地図に模式的に示された山脈が位置する造山帯の名称を書く問題である。  
(2) 3つのグラフの中から、高山気候に属するクスコの気温と降水量を示すものを選ぶ問題である。
- 問3 鎖国の体制が固まるまでの年表をみて、空欄にあてはまるできごとをそれぞれ選ぶ問題である。
- 問4 メキシコ、ポルトガル、フランス、ベルギー、韓国の年齢3区分別人口割合を示したグラフと、国内総生産に対する社会保障支出の割合を示したグラフを読み取り、これらのグラフから読み取れるヨーロッパ州の国の特色を、ヨーロッパ州以外の国と比較して記述する問題である。

### (3) 所見・解説

- 1 世界地図に示した5か国について調べる学習の場面を想定し、世界の地域構成や地域的特色について理解しているかをみようとした。
- 問1 地図をみると、エチオピアがある大陸は「アフリカ大陸」である。
- 問2 示された緯度や経度から判断すると、正答はAとなる。誤答の多くはBを選択しているものだった。緯線の基準となる赤道や、経線の基準となる本初子午線が、世界地図においてどの辺りを通っているかを理解しておきたい。
- 問3 まとめにある「インドにおいて、最も多くの人々に信仰されている」や「ガンジス川での沐浴」という表現から、空欄にあてはまる語は「ヒンドゥー」となる。
- 問4 1965年と2015年のオーストラリアの貿易の変化について、表1からは、輸出総額が大幅に増えたことと、輸出品の特色が、羊毛や小麦、肉類、果実などの農産物から、鉄鉱石や石炭、天然ガス、金などの鉱産資源に変化したことが読み取れる。また、表2からは、1965年の貿易相手国にはヨーロッパ州の国が複数みられるが、2015年では、中国や日本、韓国、タイなどの「アジア州」の国がおもな貿易相手国となっていることが読み取れる。
- 問5 表から読み取れる内容を述べた文として正しいものは、イ、ウとなる。誤答はアを選択したものや、イを選択していないものが多かった。人口密度は「人口÷面積」で求められ、それぞれアメリカ合衆国が約32(人/km<sup>2</sup>)、エチオピアが約88(人/km<sup>2</sup>)となり、アは誤っていると判断できる。また、農地面積に占める牧場・牧草地の割合は「牧場・牧草地の面積÷農地面積×100」で求められ、それぞれオーストラリアが約88%、ブラジルが約69%となり、イは正しいと判断できる。
- 2 日本のある地域の自然環境や産業について調べる学習の場面を想定し、日本の諸地域の地域的特色、身近な地域の調査について理解しているかをみようとした。
- 問1 地図とまとめの文章を読み取ることにより、空欄Xにあてはまる島は「対馬」であり、空欄Yにあてはまる地形は「カルデラ」である。
- 問2 日本の気候区分において、那覇市は南西諸島の気候、大分市は瀬戸内の気候、鳥取市は日本海側の気候にそれぞれ属している。南西諸島の気候の特色は、一年中気温が高く、降水量が多いことであり、瀬戸内の気候の特色は、夏の降水量がやや少ないことであり、日本海側の気候の特色は、冬の降水量が多いことである。そのため、正答はエとなる。
- 問3 アは、人口が少ないことから鳥取県であると判断できる。イは、工業出荷額が多いことから大分県であると判断できる。ウは、農業産出額における畜産の額が多いことから鹿児島県であると判断できる。エは、第3次産業の人口割合が最も高いことや農業産出額が低いことから沖縄県であると判断でき、正答はウとなる。
- 問4 「ビニールハウスを利用して出荷時期を早める工夫をした」とあることから、ある栽培方法は「促成栽培」となる。また、表から、高知県は群馬県の出荷量が少ない時期になすを出荷していることが読み取れる。正答に至らなかったものには、ある栽培方法を「抑制栽培」としたものや、群馬県と比較した記述となっていないものがみられた。
- 問5 A地点の「あぞうの」駅からB地点の「とさいっく」駅まで列車で移動する途中には、進行方向右側に工場の地図記号が読み取れるため、アは正しい。縮尺が2万5千分の1の地形図であることから7cm×25,000=175,000cm=1,750mとなるため、イは誤りである。E地点にみられる地図記号

は老人ホームではなく官公署であるため、**ウ**は誤っていると判断できる。Fの範囲内には、果樹園の地図記号がみられるため、**エ**は正しい。G地点は近くにある三角点の数値と計曲線が50mごとであることから標高100m、H地点は近くにある標高を表す数値と計曲線が50mごとであることから、なぞると標高50mとなるため、**オ**は正しい。したがって、正答は**ア**、**エ**、**オ**となる。

**3** 日本の仏教について調べる学習の場面を想定し、世界の歴史を背景とした近世までの日本の歴史について理解しているかをみようとした。

問1 奈良時代の社会や経済に関する問題であり、正答は**ア**となる。誤答の多くは**イ**を選択したものであった。なお、**イ**は室町時代、**ウ**は鎌倉時代、**エ**は江戸時代の社会や経済の様子を述べた文である。

問2 Xは唐がほろんだ後、小国に分かれていた中国を宋が統一したこと、朝鮮半島で高句麗が新羅をほろぼしたことについて述べた文であり、日本では平安時代にあたる。Yはムハンマドによってイスラム教が開かれたことについて述べた文であり、日本では飛鳥時代にあたる。Zはフランス革命について述べた文であり、日本では江戸時代にあたる。よって、正答は**イ**となる。誤答の多くは**ウ**を選択したものであった。

問3 時宗を開き、念仏をすすめるために踊念仏を取り入れたりするなどの工夫をこらした人物は「一遍」である。

問4 室町時代の文化について述べた文はbであり、室町時代の代表的な文化財は、資料2の「東求堂同仁齋」であるため、正答は**ウ**となる。なお、aは鎌倉時代の文化について述べた文であり、資料3の「東大寺南大門」は鎌倉時代の代表的な文化財である。誤答の多くは**ア**を選択したものであった。

問5 江戸幕府の第3代将軍は「徳川家光」である。参勤交代は徳川家光のときに、制度として定められ、大名は1年おきに領地と江戸とを往復することとなった。

**4** 近現代の日本と世界の歴史について理解しているかをみようとした。

問1 正答は**ウ**→**ア**→**エ**→**イ**となる。**ウ**の薩英戦争は、開国後の尊王攘夷運動の高まりの中で起こったものである。**ア**の岩倉使節団の派遣は新政府によるものであり、**ウ**より後である。岩倉使節団が欧米に派遣されている間、政府内には、朝鮮と国交を結ぶために武力で朝鮮に開国をせまる征韓論が高まったが、大久保利通らが帰国すると征韓論をおさえたいため、征韓論政変とよばれる政府の分裂が起こった。その後、朝鮮との国交を結ぶ交渉がうまくいかなかったため、**エ**の江華島事件を口実に、政府は朝鮮と日朝修好条規を結んだ。新政府による改革に不満を持っていた士族たちは、征韓論政変後の政府の中心人物である大久保の政治に非難を強め、西日本を中心に各地で反乱を起こした。その最も大規模なものが、征韓論政変で政府を去った西郷隆盛を中心として鹿児島の上級士族などが起こした**イ**の西南戦争である。開国後の歴史の流れについては、外国との関わりと国内でのできごとをあわせて理解する必要がある。

問2 日英通商航海条約が結ばれたときの日本の外相は「陸奥宗光」である。誤答の多くは、「小村寿太郎」であった。

問3 ロシア革命への干渉戦争の名称は「シベリア出兵」である。また、表から、米の価格が上がったことが読み取れる。米騒動は、シベリア出兵を見こした米の買い占めにより、米の価格が上がったために起きた。正答に至らなかったものには、「シベリア出兵」の記述がないものや、米の価格が上がった理由の記述が不十分なものが多くみられた。

問4 日本軍と中国軍の武力衝突が起こった場所は盧溝橋である。また、地図中の盧溝橋の位置はaであるため、正答は**ア**となる。誤答の多くは盧溝橋の位置を理解していない**イ**であった。歴史の学習においても、地図を活用し、地理的条件にも着目して理解を深める必要がある。

問5 1973年の石油危機から1991年のソ連の解体までの日本の社会や経済の様子について述べた文は**イ**である。誤答の多くは高度経済成長期の**ア**を選択しているものであった。

**5** 公民的分野の学習のまとめとして、興味のある分野からテーマを設定して調べる学習の場面を想定し、日本の政治や経済、国際社会について理解しているかをみようとした。

問1 表の空欄にあてはまる基本的人権を保障するための権利は、「請求権」である。

問2 内閣不信任案が可決された場合、内閣は、10日以内に衆議院を解散するか、総辞職しなければならない。正答に至らなかったものには、衆議院の解散についての記述がないものや、「10日以内」と

いう記述がないものがみられた。

- 問3 正答は**カ**である。模擬裁判の台本から、「裁判官」、「検察官」、「弁護士」の具体的な働きを考察することで、正答に至ることができる。
- 問4 正答は**ウ**である。会話文から、「需要量」、「供給量」、「価格」の関係を考察することで、正答に至ることができる。誤答の多くは**ア**であった。これは、「需要量」と「供給量」の用語を理解できていないことによるものである。
- 問5 まとめの文章を読み取ることにより、空欄にあてはまる語は「利子」となる。誤答の多くは、「税金」であった。
- 問6 現在の日本の財政に関して述べた文は**ア**と**ウ**と**エ**である。税収の増加が財政規模の拡大に追いつかないのは、「財政黒字」ではなく「財政赤字」であるため、**イ**は誤りである。また、所得税には、所得が多くなればなるほど高い税率を適用する累進課税の方法が採られているため、**オ**は誤りである。誤答の多くは**ア**、**ウ**、**エ**のうち2つだけを選択したものであった。
- 問7 安全保障理事会の常任理事国であるアメリカ合衆国が反対をしたため、決議案は否決となる。正答に至らなかったものには、「3分の2以上の賛成により可決された」というものや、否決されたことは記述しているものの、常任理事国について触れていないものがみられた。
- 問8 まとめの文章を読み取ることにより、空欄にあてはまる語は「PKO」となる。アルファベットの略称で表記された語句についても理解しておきたい。

**6** ロシアで開催されたサッカーワールドカップに出場した国に関連する事項について調べる学習の場面を想定し、地理的分野・歴史的分野・公民的分野を総合的に理解しているかをみようとした。

- 問1 エジプト文明について述べた文は**a**であり、エジプト文明で発明された文字は、資料2の「象形文字」であるため、正答は**イ**となる。なお、**b**はメソポタミア文明について述べた文であり、資料3の「くさび形文字」はメソポタミア文明で発明された文字である。誤答の多くは**エ**を選んだものであった。
- 問2 (1) アンデス山脈と日本列島が属する造山帯は「環太平洋造山帯」である。  
(2) 高山気候の特色は、同じ緯度の標高が低い地域よりも気温が低くなることであり、この特色がみられるグラフは**B**である。なお、**A**のグラフは熱帯に属するマナオス、**C**のグラフは温帯に属するブエノスアイレスの気温と降水量を示したものである。
- 問3 正答は、**W**が**ア**、**X**が**エ**、**Y**が**イ**、**Z**が**ウ**である。年表と選択肢の内容を読み取ることで、年号を暗記していなくても正答を導くことができる。**ア**のキリシタン大名が4人の少年をローマ教皇のもとに派遣したのは江戸時代より前であり、**W**にあてはまる。**エ**のキリスト教禁教令についての文は、江戸に幕府が開かれた後であるため、**X**にあてはまる。**イ**の島原・天草一揆は、キリスト教徒への迫害などに苦しんだ島原や天草の人々が起こしたものであり、**Y**にあてはまる。**ウ**のポルトガル船の来航の禁止は、オランダ商館を長崎の出島に移す前であるため、**Z**にあてはまる。鉄砲の伝来から鎖国の体制が完成するまでの流れを整理して理解しておきたい。
- 問4 ヨーロッパ州の国にあたるポルトガル、フランス、ベルギーの3か国であり、この3か国の特色をグラフ1とグラフ2から読み取ると、65歳以上の人口割合が高く、国内総生産に対する社会保障支出の割合が高いことが分かる。